

深江創生プロジェクト 事業計画書

平成31年度活動方針及び事業計画

◆活動方針

平成28年度に実施した「住民意識調査」を踏まえ、平成29年度は、先進事例視察、「景観」や「歴史・文化資源」を活かした「菅のこみち」づくりのワークショップやミニアンケートを行い、「深江のまちづくり構想」深江のみちを楽しむ提案をとりまとめて、道のネーミング募集を行った。また、「にぎわいづくり」のモデル事業として朝市や「復活新道筋商店街」を実施し、住民の声を集めた。平成30年は、「にぎわいづくり」に焦点を絞り、視察や勉強会を通して、道の愛称を付けた「深江新道筋」の賑わいづくりを構想すると共に「ふかえ☆にぎわい創造ビジョン」の骨子案を作成し、住民に周知した。

- ・平成30年度にとりまとめた「ふかえ☆にぎわい創造ビジョン」の骨子案を基ににぎわい創造ビジョンの完成に取り組む。
- ・「ふかえ☆にぎわい創造ビジョン」について、さまざまな機会を活用して情報を発信し、ご意見やご提案をいただく。

◆事業計画

- ・「にぎわいづくり」の視点から、事例調査の実施・検討
 - ・空き家の活用や賑わいづくりの事例に関する勉強会や視察を実施し、構想づくりの基盤とする。
 - ・地域で実施する事業において、ニーズや方向性の調査を実施する。
- ・地域資源の共有と活用
 - ・地域資源を整理し、活用について検討する。
 - ・人材の育成と活用に向けた活動を検討・実施する。
- ・まちづく構想となる「ふかえ☆にぎわい創造ビジョン」の完成
 - ・「ふかえ☆にぎわい創造ビジョン」の素案を広報し、地域から意見を求める。
 - ・「ふかえ☆にぎわい創造ビジョン」を完成させ、広く地域に知らせる。

◆事業効果

- ・活動の担い手として参加できる場を拡大する。
- ・「ふかえ☆にぎわい創造ビジョン」を共有することで、地域内の住民・事業所等との具体的な連携を拡大する。
- ・FSPメンバーが「今後の深江のまちづくり」の見通しを立てながら活動する。

◆達成度を測る指標

- ・新たに活動の担い手として協力してくれた人・団体・事業所の数
- ・FSPメンバーふり回りアンケート

深江創生プロジェクト 平成31年度収支予算

・収入の部

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
助成金	88,680	
自主財源	48,000	会費 1,500円×32名
雑収入	22,192	視察参加費 500円×32名 その他 6,192円
繰越金	18,488	
合 計	177,360	

・支出の部

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
報償費	20,000	勉強会実施にかかる講師謝礼 1回=15,000円 視察受け入れにかかる謝礼 1回=5,000円
交通費	113,280	視察にかかる交通費(新深江～姫路) 往復3,540円×メンバー32人=113,280円
消耗品費	14,980	にぎわいビジョン(案)PRボード作成 ・パネル 10枚×1,000円=10,000円 A4版コピー用紙 3,480円(一式) ・事業所アンケート ・賑わいビジョン(案)広報 角2 封筒 100枚=500円×3=1,500円 ・事業所アンケート
図書購入費	0	
印刷製本費	0	
通信運搬費	0	
保険料	9,600	メンバーの視察時保険代 300円×32人=9,600円
使用料・賃借料	19,500	会議のための会館使用料(1回1,500円) ・定例会 月1回=1,500円×6 ・幹事会 月1回=1,500円×6 ・勉強会 1回=1,500円
原材料費	0	
その他	0	
合 計	177,360	